

「いいな・・・」

小さな精霊トウインクルは、ハーバーランドのモザイクの港ぞいに、たたずむ恋人たちを見て言いました。
ここは、恋人同士や家族づれで来るで、楽しく過ごせる、神戸で有名な場所です。トウインクルは、ここから見れるさくやかな景色や、楽しそうに過ごす人々を眺めながら、すこしぜんちに過ごしていました。



藤原 健二

T&B
～トウインクルとビッグ～
第二話 すてきな散歩
ハーバーランド～ハーブ園

「よし！しめた！」

そこに現れたのは、いたずら

好きの、大きな精霊ビッグです。

ビッグは、トウインクルの
体をこっそりつまみ、持ち
上げると、勝手に遠くへ移動
させてしまったのです。



布引ハーブ園には
約200種類、75,000
株ものハーブを植栽して
るんやつてさ！



気が付くと、トウインクルは、遠い丘の上に
移動させられていきました。

せっかく港でゆっくりしていたのに、がっかり
です。

しかし、そこは布引ハーブ園だつたのです。

そこは、ヨーロッパの雰囲気ただよい、たく
さんのハーブに囲まれた素敵な場所です。

トウインクルは、機嫌をとりなおして、ハ
ーブ園でゆとりのひとときを過ごすのでした。



ゆめのつづき 西山 明代

二〇〇四年六月
ビーズアーティストの西山
明代さんは六甲の「里夢」
で『ゆめのつづき』をテー
マに個展を開かれました。

問。かがやきのひととき。
と過ごす私の一日、これらもその真中で、ゆめのつ
づきを見ます。

手にしたひとつつの光から、
わたしの冒険がはじまりま
した。でも何が起ころるかわ
かりません。自分自身にこ
だわってきた。すると本当
にもとめていたものの全身
がすこしづつ見えてくる。
高機した気持ちを静め单涼
的な想いに、彩りをそれ
ば――。夢が重なりあつ
て明日になる。ひかりの時

■私の意見

甲南から始まる地域の元気を

伊達 康一

甲南地域経営研究所代表



一環と位置付けている、異文化交流イベントの開催を8月に企画しております。甲南周辺地域に住む外国人と日本人の交流があまりに少ないと、子育てに奮闘中の日本人のお母さん方から是非交流をしたいとのニーズがあり、商店街を拠点として何かイベントが開催できいかと現在企画中です。また幅広い事業展開として商店街でのイベント事業だけではなく、東灘区役所からもお仕事のお話を頂いており、今後もKRM-Iは行政や地域と連携して事業を展開していきます。

KRM-Iの今後

当面の間は、私どもの土台作りとしてイベント事業を中心に取り組み、事業を通じて地域を知り、地域とのネットワークを確立し、地域のためのカタチに残る今までに無い取り組みが出来ないかと模索しております。そして既存のイベントに終わらずに、イベントの中で四季をモチーフにした「イベントショップ」を空き店舗を利用した、期間限定の店舗を運営し、普段とは違った商店街を地域住民の方々に楽しんでもらおうと考えております。また、ただイベントを開催するだけにとどまらず、イベントについての反省会を地域住民の方々を招いて開催し、次のイベントに生かします。

また、ただ事業を行うだけではなく、利益を残すた

めの営業努力や経営戦略、マーケティング、財務といった経営の手法を取り入れ更に強いまちづくりを展開していく計画です。

そして、この活動を通じて学生の経営感覚の養成に貢献して、学生が社会に出たときに更なる活躍ができる事に期待します。

KRM-Iの現在の事業展開

現在の事業展開として、商店街を中心としたイベントの企画・運営を柱に、KRM-Iオリジナルの事業

KRM-Iのメンバー

現在のKRM-Iのメンバーは全員が個性的で優秀な人物ばかりです。組織や会社に必要不可欠な企画・営

業・総務の三役を十分にこなせるメンバーがそれぞれいて、他にも他人を思いやめて責任感と行動力のあるメンバーがいます。そんな最高のメンバーに恵まれ、またたくさんの支援して下さる人たちに囲まれて、KRM-Iはこれ以上無いスタートを切ったと言えるでしょ

■ ポエム・ド・コウベ あゆ ほたる 星

詩 竹中 郁
画 小磯 良平



母子像（B） 昭和29年作
神戸市立小磯記念美術館蔵

こよい わが寝床の両脇

みぎひだり それぞれ孫ねむる
その腕のあたり 鮎のはしる

耳たぶのかげ 蛍いきづく

ながい ながい 五、六秒

見惚れているわが目は 目つきは
深く 清らな星になつて いるか

(詩集『そのほか』から)

紳士入門 ⑪

How to be a gentleman

青 年 紳 士

文・竹田洋太郎

え・鴨居玲

「青年紳士」という言葉を見て、「オレはもう青年でないから関係はない」と思う人はあまりない。ところの

は、紳士は八十歳になっても青年だからである。だが、ここでいう「青年」とは「〇〇主義青年同盟」などという青臭い意味ではなくて、あくまで紳士としての青年であるから誤解なきよう注意されたい。

それならば、紳士としての青年とはどういう意味か。

これは、もの心ついた時、すでにその人物が紳士であるならば、その人は高齢にして死ぬまで、紳士としての信条や態度を変える必要がないから、つまり青年のときのままの紳士である。

たとえば、「あの人はなかなか角がとれて円熟してきた」と他人に指摘されることは、その人物が青年でなくなったばかりでなく、紳士でもなくなつたのである。だから紳士は円熟する必要がない。よく世間に「円熟した紳士」と称されるのを見受けるが、そういう人物はたいていタダの年寄りである。

また、自分が「青年紳士」であることを常に自覚し、他人にもそう認めさせる必要も存在する。これはつまり話している場合、いつも相手より若いことを紳士の言葉によつて相手に告げることである。例えば、鴨居玲画伯は、同氏が中学生のとき、筆者が大学生で家庭教師をしていたと、別冊紳士入門に記したことがある。これは全く事実無根で、同氏とはクラスメートだったのである。しかし、相当の人が鴨居玲画伯の言を信じたらしい。これ

も半面鴨居氏が紳士道に熟達した結果と考えれば大らかに許せるのである。

たとえば、日本の非紳士は、ある程度酒がはいると、必ずといっていいほど軍隊時代の経験を物語り、はては「勝つてくるぞ」とか「マンガの桜エリの色」といつた歌を叫ぶものである。その際、紳士は、そんな歌は聞いたこともないという表情でおるべきである。そして

「途中おそれりますが、三八式歩兵銃といふのは長さが三尺八寸あつたのでしょうか」と静かに質問する。(この例は、ある年齢層にのみ当てはまるので、乱用はつつしません)

また、金融恐慌の話題が出たときは、それを受けて話す場合「うちのオヤジの話では」とか「私の義理の兄の話では」と、それぞれ年齢によって、前につける。この際、相手と同年配である場合には、あまり相手と年齢差があることを強調せず、数年くらい若いといふ立ち場で話すべきであろう。

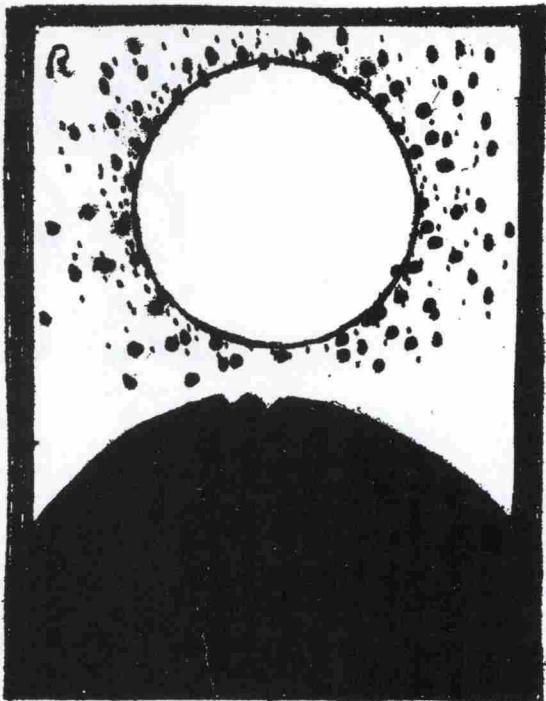
相手の年齢による肉体的条件を直接かつ端的に表現するのは、紳士の道ではない。例えば「相当おつむの方も風通しがよくなりましたな」といえば、これは単に相手をおこらせるだけであつて、意味がない。むしろ「あなたは実にお若く見えますね。失礼だがまるで青年のようですね」と、表情をかえずにいふと、相手は一応喜ぶ。だが、相手が「自分はまだ青年だ」と思つたがつて、

ならば「よう見える」という言葉をあとで思い出して

シャクだと感じるだろう。

ゴルフの話題が出たとき、「失礼だがハンドレーは」とたずねて答えられたら「ほほう。それじゃ、われわれ若いものは頗るだけ」と感心してみせる。これを同年配か、あるいは数年年長の人物に試みられるといい。

わが国には「先輩」という、甚だあいまいな言葉がある。これを活用することも許されるだろう。紳士はできるだけ控え目に「この際、先輩に敬意を表して」とか、バーなどで女性に「こちらは先輩のお席だから」とかいって、先輩でない同輩を誘導する。相手を尊敬し、とくに人前ではイタワリの心をもつて接することが青年紳士の要諦といえよう。



先日東京の友人より、銀座のさる所で「神戸っ子」を見たと便りがあった。これはいけない、今まで何となく不真面目に描いていたが、東京の人見るとあれば頑張らねば、そう、東京風に一寸しゃれたやつ、びりっとわさびの利いた挿絵を今月こそは真面目にいこう。ああやこうやといつ思想している中に、除夜の鐘。

「明けましておめでとうございます。今年が皆様に良い年でありますよう……」新年の挨拶はこれ位にして、さて仕事人々。そうだ思い切って本文を離れお目出度い絵と行くか、「朝日に輝く富士山」といこう。いやこれは大観さんが描いている。古い古い。私たちの絵を描こう。

レイ・カモキ

青年紳士であるためには、現代のさまざまな事象に対して常に広い心をもって観察すべきである。趣味として、小唄、碁、ゴルフも重要だが、ときにはモダンジャズ、宝石や服装の流行、流行歌(「人生劇場」や「王将」はダメ。「こんなにちは赤ちゃん」等)について深い知識を有しておかねばならない。それには別に時間をかける必要はない。恐らくあなたやその同輩が絶対読まないと思われる女性週刊誌や「週刊平凡」などを二、三度メクルだけで充分であろう。バーのホステスに、「君のシャネル・スーツはよく似合うね」という風に使用すれば、他の同輩は必ず劣等感をいだくのである。

神戸のこと 手当り次第

淀川長治
え・中・西・勝



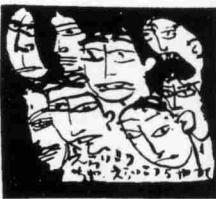
市電が湊川公園のトンネルを抜けると、空には秋の名月が輝いてそれが電車のレールに太刀魚のうろこが光っているようなその影を落していくころの、まだネオンも珍らしかったそのころ。湊川の公園近くの松竹劇場では天勝一座がアメリカから持つてかえったばかりのジャズの新曲「フウー」や「ヴァレンシア」を、ドラムの中赤い豆電気を入れて、陽気に派手に演奏していたのであった。

その湊川公園のトンネルもまだ出来ていなかつた大正五、六年ころ「湊川踊り」という、花くま、中檢、柳原の芸者衆総出の踊りの会が、きょうしん会と呼ばれて湊川の土手の上の公会堂のような建物のなかで催されて、各組の芸者が「みんながわ踊り」と、人に白地で染め抜いた前かけに赤いたすきで忙しそうに招待客を二階に一階に案内し、私は母に手をつながれて、十二段がえしという春夏秋冬の踊りの、その舞台の背景が、秋の錦、たちまち雪の風景と早変

りの、春日神社の石などをろうが、バタンと音たて二つに折れるや、それがアツと見るまに松島の雪を背負つた老い松に変るそれが嬉しくて。そして踊りが終るや、見物の招待客のみーんなに福引きがぶつたそののどかだったあのころ。

中町（なかまち）と本町（ほんまち）に常磐花壇（ニホンカーナン）という料理屋があつて、まだ三つか四つの私は芸者に連れられてよくそのお座敷に行つたものである。「へい、うちのばんでっせ」。淀丸といふ芸者がえらい自慢そうに私を抱いて客に見せる。不思議と私はそれをよく覚えている。当時の芸者も客も、それほど呑氣といえば呑氣。子供をつれて座敷に出て何とする。その子を中にはさんで夫婦と気どつたかどうか、たいがい私はそのまま何か喰べさせられ、ざぶとんを二つに折つて、それを枕に芸者のスソでスヤスヤと眠つて、そつと人力車でわが家へ送り戻されたらしいのであつた。

抱え主へのサービスか、あるいは単なる見栄か、そんなところから幼稚園のころにかけ、よく芸者に連れられ、聚楽館、松竹劇場（当時は中央劇場と呼んでいたとも記憶する）にいそいそと出かけたものである。私は、そのころ本当に子供なりに、よく売れるねえさんは面白いことをするものと感心したのであつた。もちろん自分で花をつけ自まえで行くなどということは、あとで知ったのであるが、私が見とれたのは、かならず、芝居小舎にはいるまえに表の食堂に立ち寄つて、私はオムレツ、おねえさんはブドウ一酒を小さなコップにぐいと一杯あふつてから小舎にはいる。私がいそいそ連れられたのはそのオムレツのためらしいが、芸者のブドウ一酒一杯だけを、どうやら「なんで、うちだけ喰べて、あんたは喰べへんのん」と私は子供のくせに、こせ、こせと聞いたらしい。するとその芸者が「これを呑んで、芝居を見にゆきますと、それ、ぼうーと顔が赤うなりまつしやろ、すると、えらいきれいに見えまんねん」。私は女人のて、えらい氣いを使うねんなあ。僅か五つか六つの私はそれが頭によほどこびりついたか、今もその白いテーブルと小さなブドウ一酒のコップが目に浮かぶほど覚えている。



駒屋の洒まんじゅう、かいやのカヤボコ、青辰のあなごすし……といい氣で楽しんでいた大正七年ごろのその夏に「えらい、こっちはー」と誰やらがとびこんで来て「おうちと、おむかいの西田はん（西田政治氏宅）とが危い……ちゅうことだっせ」と知らせて来た。この年の七月、富山県魚津町から始った米価騰貴の米騒動。^{こめそうとう}「鈴木商店が焼打ちやでえ、ほんまや」。私の家など焼かれたり叩きこわされたりする理由は、あるわけもない。誰かのいやがらせ。それなのに両親はびっくり仰天して、ひとまずからだけでもと兵庫の西柳原の踏切りちかくの福海寺に逃げこんで、このお寺のおっさん（僧主）のお座敷を借りて、その蚊帳の中で、母と姉二人と私。親父は我が家に居残ったのであろう。すると夜になって、その福海寺の表をゴォーッという勢いのある大ぜいの足音、バタバタと走るぞうりの音。「焼いてこませ、叩きつぶせ」。私は手ざわり固いもめんぶとんに頭までかくして身をぢぢめた。

朝になって木魚の音と鐘の音と読経の声で「ここは、いったい、どこ」私はやっとお寺だと思いだし、朝のおつとめのすんだ若い坊さんのバタバタと廊下を小走りに走るのを障子も閉めていないその廊下を蚊帳の中から眺めながら、その若い坊さんが「おまえ、えらい蚊帳のなか見とつたやないか」「あほ、お前やないか、あのとうさんのケツ見とつたぞ」。私はあわてて二人の姉を見た。上の姉がおしり丸だしのその恰好。えらいこっちや、私はとび上ってその姉に夏ぶとんをひっかけた。私の十二、三のころだったろう。

それより二年くらいまえ、と云うと私の十うくらいのころは大正琴というのが流行し、それで何を弾いていたかというと「愛のバラの花」。そしてそれはまさに米国南北戦争の北軍の軍歌のメロディだったのである。湊川公園のトンネルのできる前のその土手にかけたサークスのじんたもそのメロディ。活動写真館は連続大活劇時代。銀座の看板の上にはサークスの玉乗り男がくるくる廻る玉の上であぶなつかしく両足両手を動かしているイルミネーションがてんめつしていた。



シジュハパン「孤児の家」のマザー
©2000 Raghu Rai/Magnum Photos Tokyo
©2002 Tsurumoto Room Co.,Ltd.

没後7周年／列福記念 20世紀最後の聖女 マザー・テレサ展

写真：ラグー・ライ（マグナムフォト）

2004.9.3 FRI ▶ 12 SUN

会場：神戸ファッションマート TEL078-857-8001

開館時間：10:00～19:00(入館は18:30まで)期間中無休

入館料：一般600円(前売500円) 中学生以下無料

主催：マザー・テレサ展実行委員会



田川清美さん

子どもたちに
いちばん
見てほしい
展覧会です。

△写真家／
(株)サムライ田川清美さん▽

企画協力の(株)サムライ田川清美さんは、自身も写真家であり、この展覧会に感銘を受けたひとりだ。マザー・テレサの命日にあたる9月5日、そしてアメリカで同時多発テロが起きた9月11日をはさんで、この展覧会をすることには大きな意味があると語る。「テロ、戦争の危機、今いちばん危険なこの時代にこの展覧会をやらなくては意味がない。マザー・テレサのたましいの中には、たまたま平和・愛情が、今いちばん必要なものだと思うのです」と田川さん。誰よりも子どもたちを見てほしいと、中学生・小学生は入場無料となつている。

インドのスラム街で、誰からも忘れられた貧しい人たちに愛を与える、その人々に仕えてきたマザー・テレサは、1997年9月5日に生涯を閉じた。本展は、世界的に著名なインドの写真家、ラグー・ライ氏が、マザーと親交の深かつたナビン・チャウラ氏と結実させたマザー・テレサ写真集を基軸に、マザー・テレサとダイアナ妃と交わした交情の記録などを加えて構成される。数年前より福岡、川崎、東京等で開催され、大きな反響を呼んだ。

前売券は神戸ファッションマート、神戸国際会館PG、ローソンチケット(Lコード56141)で発売中

神戸で祝つた愛と夢!! タカラヅカ90周年



2004年7月11日

於 神戸文化大ホール
宝塚歌劇団90周年を祝して

「愛と夢、
永遠のタカラヅカエンヌ」

★華麗なる出演者たち

（後列）	南原美左保	真織由紀	檀 ひとみ	伊吹 あい	小乙女 幸	新 三矢子	郷 ちぐさ
（中列）	景 千舟	玉梓真紀	桐 さと実	水 はやみ	新 三矢子	郷 ちぐさ	姫 由美子
（前列）	風 さやか	大原ますみ	眞帆志ぶき	大原ますみ	郷 ちぐさ	姫 由美子	大原ますみ

風 はいはい、皆様お疲れさまでした。ではカンパ～イ!!

全員 カンパ～イ!! カンパ～イ!!

風 みんな若くて、観てられる方も出演者も昔に帰るんですのよね。

——何度もカンパイ!! カンパイ!!

風 はい、今の気持ちをどうぞ、大御所!

真帆 良かった、良かった。今ハアハアしてるけど、

もう一回やつてもいいわよ(笑)。でも、みんなこんなに喜んでくださって、みんな大喜び。

風 では、次は姫さん。

姫 お疲れさまでした。終わりましたねえ、もう大

変でしたね。お客様も大喜びでしたね。

姫 良かったですよ!

風 姫さん可愛かったですよ!

風 では、水はやみさんどうぞ。

水 お疲れさまでした。本当にもう今日が舞台稽古で、また明日日本番という感じですね。ありがとうございました。

風 次は我が同期のスター!

南原 本当に今日は風さん、神戸文化ホールの皆様おめでとうございます。私も唄わせていただいて、とっても楽しかったです。皆様の公演が素晴らしかったので、もう二回くらいあつたらいなと思いました。

風 さあ、次は郷ちぐさんです。どうぞ。

郷 もう32年ぶりで群舞で一所懸命踊ったので、間違えたりしてえ…。

風 チャッパー独特のスタイルなので。はい、次は大原ますみさんです。

大原 お疲れさまでした。ありがとうございました。本当に回転木馬もさせていただいて。ねえー、でも衣裳もそのままです。私は背が高くて衣裳が短かつたの



(上) 第2部ファンタスティック オープニング
宝塚メリー
中央・真帆志ぶき



(下) 第1部(日本物)
(宝扇舞)
大原ますみ 真帆志ぶき 風さやか



35年振りに回転木馬
ビリー(眞帆志ぶき)ジュリー(大原ますみ)の再演



アンドレ(風さやか)オスカル(郷ちぐさ)



♪♪六月の花一音に花開く(フィナーレ)
キャリー(新三矢子)ジガー(風さやか)etc...

で、一晩で直していただき、その愛情がたまらなくで～。

風 愛と夢の公演ですもの（笑）。

大原 本当にお世話になりました。良い思いをさせていただきました。

風 は～い、お次はキャリー。

新 は～いどうもジガーさん。ありがとうございます。

た。なんかまたジーンとしました。一所懸命頑張りました。

した。

風 は～い、次は日舞の先生が男役に魅られました、景千舟さんで～す。

景 どうも今日はありがとうございました。深川すごく楽しかったです。

風 何かまたやりたいですね。

景 よろしくお願ひします。ありがとうございます。

くでした。

伊吹 伊吹あいで～す。

もう先輩方のパワーの凄さにびっくりしました！それと私は尊敬します。風さんは全部、振り付けから演出、構成と、これほどパワフル

おかげ・ひょつとこなどは～？
いいですね～、ありがとうございます。

風 はい、お次の方～。

玉桙 玉桙で～す。ありがとうございます。この度

は張り切ってダンサーもしました。楽しかったです。

風 は～い、桐ちゃん。

桐 はい、桐です。えー今回もいろいろやらせていただきました。

だきました。日本物が好きなので、頑張らせていただ

きました。

風 どこから見ても二枚目で～す。

桐 もうミスター・スノーゲがとても新鮮でした。回転

木馬に参加させていただいたてとても嬉しかったです。

またよろしくお願ひします。

風 もう、ピッタリでした。はい次は、初出演の

男前。

伊吹 伊吹あいで～す。

もう先輩方のパワーの凄さに

びっくりしました！それと私は尊敬します。風さんは

な方にお目にかかることはないです。

風 それはねえ、皆様方が実力のある方ばかりでありますから、演出も助かっているのですよ。リフトも最高!! 拍手があつて嬉しかったですね。良かった!! 良かつた!!

伊吹 いろいろとお勉強させていただきました。

風 またよろしくお願ひいたします。さて、お次の方は…。檀ちゃん。

檀 はいお疲れさまでした。

風 今日は初々しいお方とペツトリと（笑）。

檀 組ませていただきまして。

風 今日はいろんな役ができましたね。

檀 今日は風さんのパワーに感動しました。

風 いいえ、もう…。

檀 ご一緒にきて本当に嬉しかったです。

風 では、二人ですみれの花咲く頃を唄う

伊吹・檀、すみれの花咲く頃を唄う

風 さあー、お次は小乙女 幸さん、どうも！

小乙女 もう本当に素晴らしいです。お招きいただきましてありがとうございました。楽しかったです。

風 はい、もう皆様方インタビューが終わりましたら、食べて飲んで。はい間もなく写真撮影もござります。真織由紀さんはすぐにお帰りになりましたので…。では私もひとまずここで、いただきまーす！



(右)元宝塚歌劇団演出家 横澤英雄先生と

(中)終演後楽屋にて 小野瀬晃一先生 森田まさお
加藤隆久 生田神社宮司 土田早苗 風さやか

(左)右から 大原ますみ 真帆志ぶき 風さやか 水はやみ
加古まち子(内海重典夫人) 寺田明子(寺田瀬雄夫人)



風さやかスケジュール

■生田神社大海夏祭り

8月3日、4日、5日とカラオケバークールの審査員と出演も。

■AM神戸 8月2日

特番「愛と夢 タカラジニアム」 PM6時半～7時半放送
8月16日 恒例のサマーバイキンショウ

お子さま大歓迎

新神戸オリエンタルホテル
TEL 078(333-1)3820
6550004

♥ Profile ♥ 風さやか (元・宝塚歌劇団)

熊本県出身

幼い頃（5歳）三笠宮殿下の御前で歌を披露し、豆美空ひばりの芸名を頂く。

熊本県 NHK 唱歌隊所属し、美空ひばりさんに憧れながら熊本より宝塚音楽学校に入学。昭和37年4月宝塚歌劇団に入団、初舞台。

和物、洋物と歌って踊れる個性的な男役として数々の賞を授賞。

ニヒルで独特な異色の男役として頭角を現し、特にミュージカル「回転木馬」のジガー・クレイギン役は、適役として高く評価される。

東京帝国劇場オープニング柿落としに出演、パリ公演にも出演する。トップスターの座を目前にコロンビアレコードの引き抜きにより退団。

にしきのあきら、野村将希、瀬川瑛子等と同時期デビュー。結婚の為引退。



昭和46年、体調不良のため断食道場にて断食生活に入る（高熱・全身の痛み続く）。昭和52年10月、一人息子出産一ヶ月後にリウマチ反応、原因不明の症状続く。

昭和56年より膠原病・脊椎カリエスとの闘病生活始まる。昭和58年6月手術。

昭和64年（平成元年）9月、夫腎不全の為死去。

会社経営の傍ら治療リハビリを続行し、平成3年より再び芸能活動開始。平成11年10月、宝塚パウホール劇場にて親子で30

年ぶりお里帰り公演を催し好評を博す。

現在、平成音楽大学特別講師を努め、AM・KOBE（ラジオ関西）にて“愛と夢・永遠のタカラジェンヌ”のパーソナリティーとして5周年を迎える。

又、神戸文化ホールで元タカラジェンヌの方々を迎えて開催する「愛と夢・永遠のタカラジェンヌ」公演では、構成、演出、振り付けを全て手がけ本年パートトをを迎える。

他にカラオケ審査員も努める。

毎年、ゆかいな親子のジョイントコンサートを行っている。

福祉活動では、「養護ホーム」「老人ホーム」への慰問公演と特に「ペルーの子供たちに愛の手を…」では、学校建設にチャリティーコンサート（人生に乾杯！）など、社会活動でも活躍している。

ニックネーム、トンコさん♥



風さやか ファーストアルバム 7月発売

OFFICE ♪ Sayaka
税込定価 ¥3,000

Studio	芸術創造館	レコーディングチーフ	岡田 淳	アシスタント	伊元 新、仁志出 有紀
CD製作		フォトグラフ		撮影	プロフェッサー
(株)ラジオ関西プロダクツ		Ryu: OKAMOTO		風さやか	
ジャケットデザイン	YUKI	KAZU		音楽監修	
(株)日光印刷出版社		MARIO		宮原 透	
		MASAO		音楽監修補	
				久保田 真也	

元タカラジェンヌの皆様を
ゲストに招いてトーク番組
風さやか 愛と夢 ワンマンコンサート
永遠のタカラジェンヌ

毎週日曜 PM11:00～PM11:30 AM KOBE 558にて好評ON-AIR

提供／おしゃれは足元から—神戸三宮 **▲靴のモリタ** 078-391-9283

5時46分・時をとめて…… 作詞 小泉美喜子 作曲 小野瀬晃一 編曲 宮原透

5時46分…

忘れてはならないあの日を…
時計よ! 私たちを見守っておくれ…

時計よ…おまえは何故、時をとめて
時計よ…優しく人達を見つめる
時計よ…おまえは何故、時をとめて
時計よ…よみがえるこの街を見つめる

生きる苦しみも 悲しみも おまえはじっと見つめて
生きる喜びも 幸せも おまえはじっと見つめる
あの日から、今もなお、時をとめて…

サンクール キラシニシス

Cinq Heures Quarante-Six

Cinq Heures Quarante-Six

※ たがだち
それはすべての出発

Cinq Heures Quarante-Six

Cinq Heures Quarante-Six

それはすべての…愛の出発

さあ時計よ 私たちに勇気と希望と

輝きを与えてくれ
決してあの日を忘れてはならない

生きる苦しみも 悲しみも おまえはじっと見つめて
生きる喜びも 幸せも おまえはじっと見つめる
あの日から、今もなお、時をとめて…

※くり返し

At Five Forty Six At Five Forty Six

それはすべての出発

At Five Forty Six At Five Forty Six

それはすべての愛の出発

※くり返し

At Five Forty Six At Five Forty Six

それはすべての出発

Cinq Heures Quarante-Six

Cinq Heures Quarante-Six

それはすべての…愛の出発

Song of KOBE

美しい街で美しい仕事を 作詞 小泉美喜子 作曲 小野瀬晃一 編曲 宮原透

この街で生まれて この街で育った
あの海の光と共に
あの山からの風を
感じる時に 生きる喜び

この街を愛して この街をみつめる
あの空の青さと共に
あの水のきらめきを
感じる時に 生きる喜び

苦しみも 悲しみも こえてきた
美しい街で 美しい仕事

Small is Beautiful
My Life, My KOBE

この街で生まれて この街で育った
あの坂の並木と共に
あの山からの風を
感じる時に 生きる喜び

この街を愛して この街をみつめる
あの霧笛の響きと共に
あの船のゆれる灯を
感じる時に 生きる喜び

激しさも 切なさも 胸に秘め
美しい街で 美しい仕事

Small is Beautiful
My Life, My KOBE

愛しさも 喜びも 胸にあふれ
美しい街で 美しい仕事
Small is Beautiful
My Life, My KOBE

1. 5時46分・時をとめて…

2. Song of KOBE
美しい街で美しい仕事を

3. 美しい街-KOBE

4. 愛は限りなく

5. 故郷

6. すみれの花咲く頃

7. 愛と夢

8. あなたに逢ってから

9. 私の人生

10. 又、おまいしましょう



歌は私の心の…故郷

木蓮いときめき…♪

この度は私のオーストアルバム

♪愛と夢 ♪私の人生♪

おお運い下さいまして
大変嬉しうございます

ほんの少しだけでも…

私の愛と～夢き～

感じて頂けましたら幸いございまます

♪恋に愛と

人生へ夢き

そして希望を胸に花き…♪

あなたとのお運いに

感謝を込めて…

Star Ruby

MUSICIAN 宮原透

Arrangement

Piano

Sax	横山 貴生	Guitar	池田 定男
Trumpet	松本 浩昭	Drums	高岡 審治
Trumpet	倉沢 修	Keyboard	土井 淳
Trombone	大迫 明	Bass	福栄 宏之
		Percussion	井上 ひろし

Chorus 鈴木 千頬、鶴飼 真理子、小河畑 千鶴子、末永 歩、高倉 悅子、中田 あずき

OFFICE *Sayaka* 統括本部長 森田 まさお